

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2021 年 1 月 20 日作成 第 2.0 版

研究課題名	進行性腎細胞癌に対する分子標的薬治療の実態調査
研究の対象	横浜市立大学附属病院・神奈川県立がんセンター・横須賀共済病院で2008年1月から2020年12月までの期間に腎癌分子標的薬（スーテント、ネクサバル、インライタ、アフィニトール、トーリセル、ヴォトリエント カボメティクス）による治療を受けた腎癌患者さん 性別は問いません
研究目的 ・方法	目的：腎細胞癌に対する分子標的薬による治療の実態を明らかにします 方法：上記施設において治療を受けた患者さんの診療情報を既存のカルテ、画像データから収集して実臨床における分子標的薬治療の実態を調査します
研究期間	西暦 2017 年 12 月 19 日～ 西暦 2025 年 9 月 30 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	本研究では分子標的薬の効果や治療対象者の背景、治療方法、副作用の実態を明らかにするために対象となる患者さんの診療記録（カルテ）から性別、年齢、既往歴、合併症などの背景情報や、分子標的薬治療前・治療中・治療終了後の採血データ・画像データを含む診療情報を抽出します
外部への 試料・情報の 提供	外部への情報の提供はない
外部からの 試料・情報の 取得と保管	参加施設において研究対象者個人が特定できないように匿名化された調査票を横浜市立大学附属病院泌尿器科へ研究者が直接持ち込むか郵送によって届きます。本研究のために収集したデータは、本研究の終了日から5年後又は本研究の結果の最終の公表について報告した日から3年後のいずれかの遅い日までの間、施錠できる保管場所で保存し、電子媒体で保管する場合は、パスワードを設定した電子ファイルで横浜市立大学附属病院泌尿器科のインターネットに接続できないパソコンで保存します。保管期間終了後、その紙媒体はシュレッダーで破棄、電子データについては物理的に再生不可能な形にして破棄します。各参加施設においても同様に管理します。
研究組織	横浜市立大学附属病院 泌尿器科 中井川 昇 神奈川県立がんセンター 泌尿器科 岸田 健 横須賀共済病院 泌尿器科 小林 一樹

## 情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### 問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 泌尿器科（研究責任者）中井川 昇（研究事務局）軸屋 良介

電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-786-5775